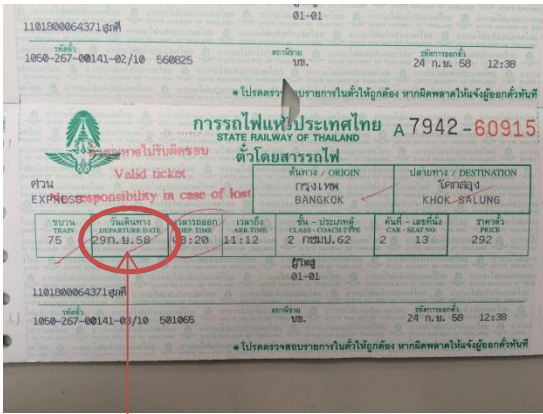


タイ旅行記 2015.9/27-10/1 (3・4日目)



タイ旅行 3 日目♪ タイ国鉄でフアワンポーン駅からアユタヤへ行きます。タイでは朝 8 時と夕方 6 時に公共の場とテレビ放送で国歌が流れ、人々は立ち上がって敬意を表していました。

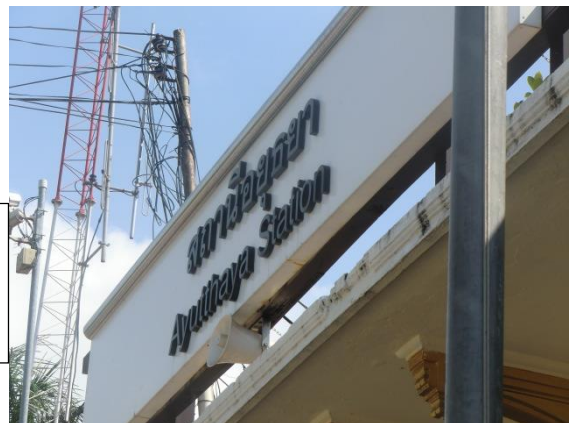
ここに注目!! バンコクからアユタヤまでの電車のチケットです。  
日付が 9 月 29 日は分かりますが。  
「58」って何?? これはタイの仏歴で 2558 年を表しています。仏歴はお釈迦様の入滅を基準に作られたそうで、西暦に 543 年プラスしたものです。



かつて日本で走っていた列車が今ではタイで大切に乘られています。バンコクからアユタヤまで約 1 時間半の列車の旅もなかなかよかったです♪



アユタヤ駅では豪快に線路の上で下されました^^笑







アユタヤ名物!!ロティサイマイ 繊維状の綿あめをクレープに包んで食べるお菓子。露店では素手でクレープ生地を焼く姿が多くみられ、ビックリしてしまいましたが、食べてみると甘くてとっても美味しかった^^名物で人気なお菓子なのも納得でした!!



ワット・モンコン・ボビットは、タイ国内でも最も大きなブロンズ仏像の一つだそうです。前に座るとその大きさと神聖さを感じます。



アユタヤはウートン（ラーマーティボーディ1世）によって王朝が開かれ、約400年の間、都として繁栄した都市です。1767年ミャンマーの攻撃により壊滅的な打撃を受け、遺跡にあるほとんどの仏像も首がない状態でした。

ワット・プラ・サンシート; 1448年に王宮内に建てられアユタヤにおける王室寺院であり、重要な王室の儀式を行ったり、王室の人々の遺灰もおさめられています。↑この仏塔にもかつての王の遺灰が納められているようで、かつては純金に覆われていたそうです。





ワット・プラ・マハタート；アユタヤ王朝 3 代目の王によって 1374～90 年に建てられた寺院です。ここもミャンマーの侵入により仏像のほとんどが首を切られていました。中でも木の中にうずまった仏像が印象的でした。



タイの象徴的な象に乗る事もできました。象の背中では高く歩くと予想以上に揺れるのでちょっと怖かったです^^;; タイ語で象は「チャーン」と呼ばれ仏教やタイの人々の生活の中でも古くは林業などで深く関わっていました。最近では観光の一つとして象に乗ったり、お辞儀をしたり、絵を描くなどサーカスのようなスキルを持っている象もいますが、そのスキルを持つために虐待を受けている事が問題となっている事も知っておかなければなりません。



アユタヤからバンコクへの帰路は  
チャオプラヤ川ランチクルーズを楽しみました♪





ランチクルージングの様子です^^



バスを降り、チュラロンコン大学を抜けてホテルへ戻ります。  
この大学はラーマ5世によって設立されたタイ最古の大学で日本の東大のような存在だそうです。  
タイでは大学生も白と黒の制服を着ていて、1年生だけは白の靴を履いているそうです。



タイ旅行 最終日(4日目) バス→センセーブ運河ボートに乗り、ワット・ラチャナダーへ向かいます。  
工業・生活排水によって臭いもキツイこの運河を水しぶきを上げて豪快に走るこのボートは交通渋滞をさける為の市民の交通手段としても活躍しているそうです。





ワット・ラチャナダーは、ラーマ 3 世は立てた寺院です。らせん階段を上ると頂上からバンコクの街並みも見ることができました。

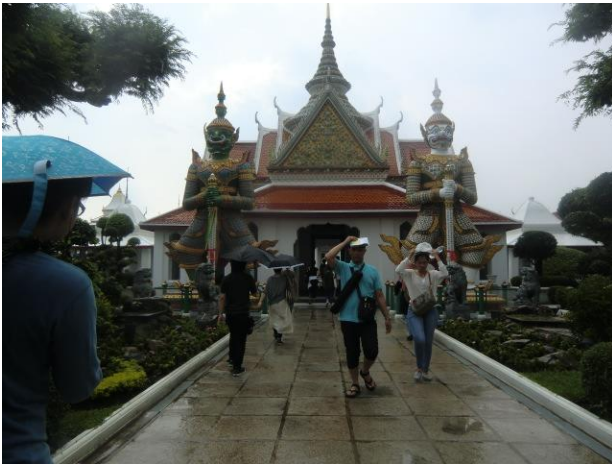


サンペーン市場→インド人街を散策しました。人の多さに写真を撮る事もできない程賑わっていました。この市場は、アジア・アラブ各地から人々が集まり、まとめ買いしている様子でした。



チャオプラヤ川を渡って寺院観光へ向かいます^^  
途中、激しいスコールにも会いましたが何とか観光することができました♪





ワット・アルンは「暁の寺」とも呼ばれ、塔の表面が陶器のかけらで覆われていて、これが日の光に反射し神々しい光を放つからだそうです。今ちょうど改修工事が行われていました。



トゥクトゥクに乗って、ワット・プラケオへ向かいます。蒸し暑い中でもトゥクトゥクの乗って風に吹かれるととても爽快でした^^  
ワット・プラケオは、ノースリーブ・短パンなど露出の多い服装はNGとされていました。







ワット・プラケオは、「エメラルド寺院」とも呼ばれその名の通り金ピカでした。1782年ラマ1世がチャクリー王朝を開いた時に護国寺として建てた寺院です。夜のライトアップも美しさは格別でした^^

↓ワット・ポーはバンコクで最も古い寺院で、全長46mもある黄金の寝釈迦物がありました!! 足裏には仏教の世界観を表す108の細工があるとの事でしたが、修繕中にて見ることができませんでした。このお釈迦様の脇に添って煩惱を捨てる? 108の鉢にコインを入れることができました。



お昼を食べる間もなく歩き回り、夕食はカオサンにてゆっくりディナーを食べました♪





深夜 2 時発の飛行機を待ち、バンコクから無事帰国しました。

T・Nくん：修学旅行を楽しみにしていたので、準備からワクワクした。飛行機からの眺めは雲が近く感じた。バンコクではホテルがとてもよく、ベッドが気に入った。夕食はあまり食べれなかった。二日目、バスにビックリした。乗り降りが大変だった。パーツに両替して自分でハイチューを買った。スラムでの暮らしは僕にはできないと思った。日本はいいと思った。三日目、朝早くから出発し、大変でしたが電車に乗ったり、船に乗ったり、いろんな体験が出来て楽しかったです。象は怖くて乗れませんでした。エサはやってみたくかったです。

T・Sくん：今日初めて、タイのバンコクへ行きました。思ったより暑くなく、街も賑わっていてとても楽しかったです。中華街の食事とても美味しかったです。

二日目、初めてスラム街へ行きました。スラム街では、現地の人やボランティア活動をしている人たち皆で協力して力強く生きていてエネルギーをもらいました。

三日目、初めてアユタヤを見学しました。アユタヤの遺跡を見て、とても迫力があり見応えがありました。象を生で見たのは初めてでとても可愛く素敵でした。

T・Kくん：初めての海外で最初の方は少し不安もあった。タイは自分が思っていたよりもいい雰囲気だった。タイは人も多く、気温も高くて暑かった。初めてタイの料理を食べて油っぽかったけど美味しかった。

二日目、アラブ人街とプラティープ財団へ行った。アラブ人街ではアラブ系の人がたくさんいた。プラティープ財団では貧しい子どもの家に行き、自分がどれだけ豊かな生活を送れているかということを実感した。また、ターミナル 21 にも行った。広かった。今日も蒸し暑かった。

三日目、アユタヤへ行って寺院を二か所見た。寺院には大きな大仏があった。そして顔がなくなっている仏像もあった。クルーヅングでは思っていたよりもいい船で、かなり快適に過ごせたから良かったと思う。今日もいつも通りの暑さでした。

参加した生徒たちは、初めての海外旅行であったり、初めての生活や文化の違いや環境を体験し、それぞれに今後考える事ができる旅となったのではないかと思います。体験してすぐに感じたことを何かの人生のプラスにできる訳ではありませんが、これから今回の旅で見たモノや感じたことについて自分なりに考え、消化し、長い人生の中でひとつの宝としてもらえれば嬉しいと思っています。